



子どもたちの笑顔・元気のために

好事例紹介：実践交流を校内研修に位置付ける(西栗倉小)

西栗倉小学校は、A P の取組の柱の一つに、全ての教育活動において『**自信**』『**チャレンジ**』『**つながり**』『**自己調整力**』の4つの力を付けていこうとしています。4つの力について、「どのような場」で付けるのか、「どんな姿」を目指しているのか（行動指標）を児童と共有しながら進めています。

また、取組の確認や共有、改善のための**実践交流**を、R 5 年度より校内研修に位置付けています。今回は『好事例』として西栗倉小学校の**実践交流**に焦点を当てて紹介します。

育 み た い 力	自信	チャレンジ	つながり	自己調整力
定 義	試行錯誤しながら粘り強く取り組む	価値ある新たなものを求め、創り出す	思いやり・優しさをもち、違いを認め、共に学ぶ	振り返り、自己調整しながら、探究する

この表の下に「場」と「行動指標」が示されています。児童との共有にも使われています。

「実践交流」とは

A P の取組と校内研修を連動させることです。西栗倉小では、「**実践交流**」を①A P の取組を確認し合う場、②良い取組を交流し合う場、③取組の改善を図る場として機能させています。年度内に複数回、研修に位置付けA P の実行度の向上に役立っています。

校長先生の話

これまで、実践交流の場を校内研修に位置付けていなかったことで、各担任の取組が十分共有できませんでした。位置付けたことで、全体で取り組む体制が進みました。



今日のキーワード：【APと校内研修の連動】



【1回目の実践交流の様子】(年間5回実施)

～年度当初の取り組み～

～発表の手立て～

自分の考えを、より詳しく説明ができるようなテンプレートを作成。

式は、○○だと考えます。

↓

理由は、○○だからです。

↓

よって、答えは○○です。

「授業の方向性」の交流

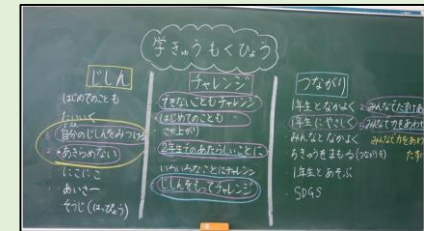
（実施後の職員の感想）

【言葉、図、式を関連付けながら説明することについて】板書を写真に撮り交流。各学年がどのように取り組んでいるかがよく分かり、自分の実践の不足しているところが分かった。取組を揃えるのに有効であった。

【自信、挑戦、つながり、自己調整力について】どんな子どもを育てるのかの方針に沿って学級目標の設定をした。子どもとの共有方法や提示の仕方等具体的に交流でき、目標設定の考え方や方法が揃ってきた。

どちらもA P に沿っての取組を学級でどう実践したかを板書等の写真を共有しながら分かりやすく交流しています。

「自信・挑戦・つながり」を学級目標につなげることの交流



※ 西栗倉小学校の取組は、組織的な動きや実効性を高めることにとても有効です。他校でもぜひ参考にしてみてください。

